

平成 30 年度高知 CST 養成プログラム開校式 (H30 年 4 月 21 日)

挨拶

みなさま、こんにちは

高知大学の理事をしております奥田一雄です。

平成 30 年度の高知 CST 養成プログラムの開校式にあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

高知 CST 養成・育成事業は、高知県教育委員会と高知大学の連携のもと、平成 22 年度にスタートしました。第 1 期 4 年、第 2 期 4 年を経て、今までに合計 88 名が高知 CST として認定され、そのうち 71 名の方々が県内でご活躍されています。

本年度は第 3 期の 1 年目となり、あらたに 12 名の受講生をお迎えすることができまして、たいへん喜ばしく思います。

さて、昨今ますます子供の理科離れが指摘されております。かつてのように屋外で、自然の中で遊ぶ機会が少なくなったというような、子供を取り巻く環境が大きく変化したことも理科離れの原因の一つかもしれません。

そのような状況の中で、子供を理科好きにすることがコア・サイエンス・ティーチャーに求められる大きな役割です。それゆえ、教材の開発や教え方などの様々な工夫・仕掛けが必要となるでしょう。

私はまず先生方ご自身が自然現象や宇宙、生物の生態などになぜだろう、なぜかしらと興味・関心をもつことが何よりも大切だと考えています。

子供は先生から大きな影響を受けます。先生が好きで熱中しているものなら、生徒も寄ってきます。きっかけは好奇心です。生徒の好奇心を引き出せばもう半分以上は成功でしょう。

受講生の方々はこれから用意されたカリキュラムに従って履修されると思いますが、単に知識をつけるというだけではなく、どうぞご自身が理科の世界を探検するという気持ちで、新たな発見をし、楽しく学んでいくことを心からお祈りし、ご挨拶といたします。